

「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」のご案内

埋蔵文化財センターのある西神中央公園は約 16 ヘクタールの広さがあり、およそ 3,500 本の樹木が植えられています。昔の人々の生活上で、木は大切な役割を持っていました。

埋蔵文化財センターには昔の人々が使った色々な木製品が展示されています。そこで、昔の人々の生活と木について考えながら、公園の中にある樹木を探して歩く、そんな「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」をしてみませんか。

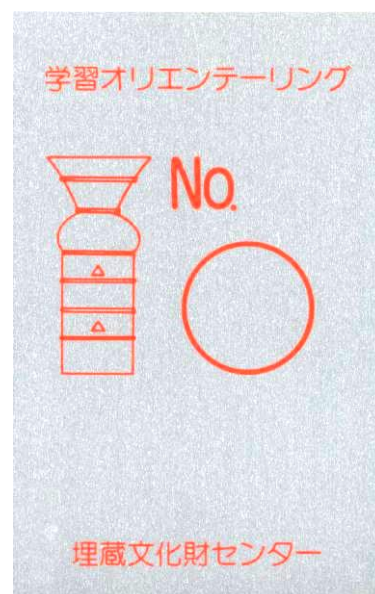
◆「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」とは

オリエンテーリングとは地図と磁石を使い、定められた目標地点に到着する時間を競う屋外競技の一種です。「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」ではチェックポイントの番号と地図が書かれた〈オリエンテーリング案内図〉を見ながら、木の名前を答えていくものにアレンジしています。

◆「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」のやり方

〈オリエンテーリング案内図〉に□で表示してあるチェックポイントを探し、標石に書かれた問題を読み、答の木を探してその名前を案内図の（ ）に記入します。○で表示してあるチェックポイントも探して木の名前を（ ）に記入しながらチャレンジするコースを回ります。

※チェックポイントの木には、目印として朱色の朝顔形円筒はにわの「シンボルマーク」がついています。



◆やってみましょう！

- ①<オリエンテーリング案内図>を埋蔵文化財センターの受付で受け取ってください。
- ②<オリエンテーリング案内図>の3つのコースからチャレンジするコースを決めましょう。
- ③集合場所から出発した時間を記入し、コースを回り終わったら集合場所に到着した時間を記入します。
- ④学校の先生に正解一覧表を渡していますので、班ごとに正解を確認しましょう。

◆各班でオリエンテーリングをより楽しんでいただくためには

- ①参加者で順位を競う場合、かかった時間と正解の数を加味して順位をつけるのも一つの方法です。色々と工夫してください。

※例：参加者10人の場合

Aさん 時間：1位→10点 正解：1個→1点

合計→11点

Bさん 時間：2位→9点 正解：5個→5点

合計→14点

このようにして合計点の多い順に最終的な順位を決めます。

- ②オリエンテーリング中は、けがや事故のないように十分注意してください。危険なことや公園を利用する他の人の迷惑になることはやめてください。
- ③グループ独自のコースやルールを考えたり、時間を限らず散歩感覚で回ってみたり、自由に楽しんでください。

神戸市埋蔵文化財センター

オリエンテーリング参加メンバー表

No.	氏 名	No.	氏 名
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

チャレンジするコース（○を付けてください。）

- ・ 食の文化コース
- ・ 住と道具の文化コース
- ・ 人々に親しまれた木の歴史コース

特定課題 番号 []（□で表示している標石のあるチェックポイントです。
課題を2つ以上にしてもいいでしょう。）

回 答 欄	
-------------	--

『オリエンテーリング案内図』に口で表示しているチェックポイントの標石には、下記の文章があります。オリエンテーリング中の学習にご利用いただける他、特定課題を設定される場合などにもご活用ください。

食の文化コース

No. 1 『手てを加くわえずに食たべていたもの』

ヤマモモ

おおむかし ひとびと のやま は き くさ み と しょくりょう
大昔の人々は、野山に生える木や草の実を採って食料にしており、それらの生えている場所や、実のなる季節をよく知っていました。モモやウリの種などが、遺跡からしばしば発見されています。この公園の中には、ヤマモモのほか、ヤマボウシやオニグルミなどが植うえてあります。みんなでさがしてみよう！

No. 2 『火ひをとおすと食たべられるもの』

クリ

き くさ み に や た
木や草の実には、煮たり、焼いたりすると食べられるものがあります。この公園の中には、カヤやクリ、イチイガシなどが植うえてあり、おおむかし ひとびと せいかつ
した遺跡からもこれらの木の實きがみ発見はっけんされることがあります。さあ、公園のどこにあるか探さがしてみよう！

No. 3 『洗しぶみ（あく）をとると食たべられるもの』

アカガシ

き くさ み しぶ みず つ かわ
木や草の実には、洗しぶみがあるものがあり、水みずに漬つけたり、皮かわをむいたりして、それを取とらないと食たべられないものがあります。しかし、これらは、ひとびと きちよう
な食たべ物であり、洗しぶみをとる方法ほうほうにいろいろな工夫くふうがされていました。この公園
の中には、アカガシ、コナラ、クヌギ、トチノキなどの木きがあります。さて見みつかるかな？

No. 4 『薬くすりや洗剤せんざいなどになるもの』

エゴノキ

木きや草くさの実みのなかには、病びょう気きや、けがなを治なおしたり、染せん料りょうや香かう料りょう、衣い類るい、虫むしよけなど人々ひとびとの生活せいかつに必要なひつようものもあります。エゴノキの実みからは、洗せん剤ざいの原げん料りょうが採とれ、また、クスノキは、香かりおが強つよく、樟しょう腦のうとよばれる虫むしよけ薬くすりがとれます。神戸こうべ市内しないからは、3000年ねん以上いじょう前まえのクスノキの大たい木ぼくが発は掘くつされ、今いまでも強つよい香かりおがしています。さて、これらの木きは公こう園えんのどうこに植うえてあるでしょう。

住と道具の文化コース

No. 5 『燃もえる木き（発火具はっかぐ）（炭材すみざい）』

クヌギ

大昔おおむかしには、マツチやライターなどはありませんから木きと木きをこすりあわせて、火ひを起おこしていました。その木きにはヒノキなどの火ひが付きやすく、よく燃もえる木きが選ばれていました。また、クヌギ、コナラなどの木もく材ざいを蒸むし焼やきにして、木もく炭たんにして生なまの木きよりも火か力りよくを強つよくして燃もやしていました。どんな木きか探さがしてよく見みてみよう。

No. 6 『狩かり・いくつかさに使きう木ゆみや（弓矢）』

イヌマキ

縄文時代じょうもんじだい（約1万年やくまんねんまえ前まえ）以来いらい、人々ひとびとにとって弓矢ゆみやは、動どう物ぶつを狩かったり、いくさをするためになくはない道具どうぐでした。弓ゆみを作つくる材ざい料りょうとしては、イヌガヤやイヌマキの木きの枝えだがよく使つかわれていたのが発掘調査はっくつちようさで明らかあきになってきています。さて、どんな木きかな？

No. 7 『田たを耕たがやす道具どうぐ（農具のうぐ）』

シラカシ

今いまから約2300年やくにさんぜん前まえの弥生時代やよいじだいに、米こめを作つくる技ぎ術じゆつが中ちゆう国ごく・朝ちよう鮮せん半島はんとうから伝つたわっ

てきました。それとともに、^{すき くわ}鋤・^{すいでん たがや}鍬などの^{どうぐ}水田を^{のうぐ}耕す^{つく}道具（農具）も作られるようになりました。これらの^{どうぐ}道具は、^{じめん たがや}地面を^{えら}耕すことができるように、シラカシ、アラカシ、アカガシなどの^{かた ざいしつ}堅い^{えら}材質の^{こうえんない}木材が選ばれました。公園内にたくさん^う植えてありますので^{さが}探してみましよう。

No. 8 『^{おの え}斧の^{つか き}柄に^{こうぐ}使う木（工具）』

ユズリハ

^{やよいじだい}弥生時代（^{ねんまえ}約2300～1700年前）になると、^{き き たお}木を^{てつ おの いし}切り倒すには、^{おの りょうほう}鉄の^{つか}斧と^{いし}石の^{おの}斧の^{おと}両方が^な使われていました。石の^き斧は、^{ちから}切る力^{てつ おの}は鉄の^{おと}斧より^な劣りますが、^{ひと}慣れた人ならば^{おお き}大きな木も^き切り倒せたようです。斧の^{おの え}柄には、ユズリハ、サカキ、ヤブツバキなどの^{だんりよく}弾力のある^{き えら}木が^{はっくつちようさ}選ばれていたことが^う発掘調査から^{こうえん}わかりました。さて、公園のどこに^う植えてあるのでしょうか。

No. 9 『^{だっこく}脱穀の^{どうぐ}道具（農具）』

クスノキ

^{こめづく}米作りを^{はじ}始めた^{やよいじだい}弥生時代（^{ねんまえ}約2300年前）以降、^{いこう}人々は、^{しゆうかく}収穫した^{こめ}お米などの^{から}穀をとる^{ほうほう}方法として、^{たてぎね}竝杵と^{うす}臼を^{つか}使いました。これらの^{どうぐ}道具は、クスノキ、アカガシ、ヤブツバキなどの^き木から^{つく}作られたものが^{いせき}遺跡から^{はっけん}発見されています。さあ、どんな^き木か^{さが}探してみよう！

No.10 『^{だいどころ}台所・^{しょっき}食器に^{つか き}使う木（^ま曲げ物）（^{おけ}桶）（^{もの}くり物）（^{もの}ひき物）』

ケヤキ

^{だいどころ}台所で^{つか}使う^{うつわ}器や^{しょっき}食器の^{おお}多くは、^き木で^{つく}作られたものでした。たとえば、^かバケツの^{いた}代わりに^{まる}スギ、^{そこ}ヒノキなどの^まうすい^{もの}板を^{まわ}丸く^{つな}つなげて^{そこ}底をつ^まくった「^{もの}曲げ物」、^{いた}板を^{えんけい}円形に^く組み^あ合わせた「^{おけ}桶」などを^{つか}使っていました。また^きケヤキ、^{クスノキ}クスノキなどの^き木を、^{まわ}ろくろを^{まる}回して（^ぬひいて）^{つく}丸く、^{わん}くり^{はち}抜いて^{つく}作った^おお椀や^{はち}鉢なども^{つか}使っていました。さて、これらの^き木は公園のどこに^う植えてあるのでしょうか？

No.11 『ひつぎにつかう木（木棺）』

コウヤマキ

大昔の有力者は亡くなると、ひつぎに納められ、お墓に葬られました。特に、古墳時代（約1700～1400年前）には、丸太を二つに割り、中をくり抜いた大きな木のひつぎがつくられました。ひつぎには、コウヤマキという木が関西では多く使われたことが、当時のお墓を発掘してわかりました。さて、どんな木か探して確かめてみましょう！

No.12 『紙になる木・紙に代わる木（木簡）』

ミツマタ（標石だけがあります。）

古墳時代の終わりごろ（約1400年前）木の繊維から紙を作る技術が朝鮮半島から伝わってきました。また、この時期の少し前ぐらいから日本では、漢字を使って記録を残すということができるようになりました。しかし、紙は貴重で高価なものであり、かんたんなメモや荷札などは、ヒノキやスギなどの木で作られた木札（木簡）が使われました。また、紙の原料としての木はミツマタ、コウゾなどが有名です。木を探してよく観察してみよう！

No.13 『家を造る木（建築材）』

スタジイ

大昔の人々が生活した家には、主に竪穴住居と掘立柱建物の二種類があります。竪穴住居は地面を円または四角に掘りくぼめ、その中に柱をたて、屋根を地面までふいたものです。この建物は、埋蔵文化財センター内に復元しています。掘立柱建物は、地面に柱を埋め込んで立て、その上に床と壁、屋根をつけるものです。これらの家には、ヒノキ、クヌギ、ツガ、スタジイ、コウヤマキ、スギなどの木が多くつかわれています。さて、公園のどこに植えてあるのでしょうか？

No.14 『丸木舟を作る木（丸木舟）』

カヤ（標石だけがあります。）

すでに縄文時代（約6000年以上前）から、人々は、大きな木を二つに割り、なかをくり抜いてカヌーのような形の丸木舟を造りました。このような舟で、川や湖だけでなく海にも漕ぎ出し、人や物を運び、魚を獲ったりしていました。丸木舟を造る木はカヤ、スギなどが多かったことが発掘調査でわかってきました。さて、どんな木かな？探してみよう！

人々に親しまれた木の歴史コース

No.15 『四季に親しむ』

イチョウ

日本には、コブシやイロハモミジなど大昔からあったものと、イチョウやハクモクレンのように外国から人の手によって移植された植物もあります。大昔の人々は、自然の恵みをうけて、食料や、住居、道具に変えていきましたが、それと同時に風景の一部として、四季に咲く花や紅葉を愛し、大切に守り、育ててきました。わたしたちもまた、残された緑を大切にし、次の世代に伝えていかなくってはなりません。

「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」正解一覧表

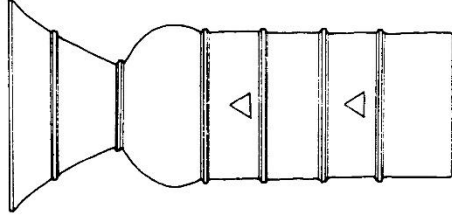
No. 1	① ヤマモモ ③ ヤマボウシ
No. 2	④ クリ ⑤ カヤ ⑥ イチイガシ
No. 3	⑦ アカガシ ⑧ コナラ ⑨ トチノキ
No. 4	⑩ エゴノキ ⑪ クスノキ
No. 5	⑫ クヌギ ⑬ コナラ
No. 6	⑮ イヌマキ
No. 7	⑰ シラカシ ⑱ アラカシ ⑲ アカガシ
No. 8	⑳ ユズリハ ㉑ ヤブツバキ

No. 9	㉒ クスノキ ㉔ ヤブツバキ
No.10	㉕ ケヤキ ㉖ スギ ㉗ ヒノキ
No.11	㉘ コウヤマキ
No.12	㉙ (ミツマタ 標石のみ) ㉚ コウゾ ㉛ ヒノキ
No.13	㉜ スダジイ ㉝ クヌギ ㉞ ヒノキ ㉟ ツガ
No.14	㊱ (カヤ 標石のみ) ㊲ スギ
No.15	㊳ (イチヨウ 標石のみ) ㊴ イロハモミジ ㊵ ハクモクレン ㊶ コブシ

歴史と樹木の

名前 _____

学習オリエンテーリング



出発時間	到着時間	かかった時間
～	～	分
～	～	分
～	～	分

1. 食の文化

コース _____

2. 住と道具の

文化コース _____

3. 人々に親し

まれた木の

歴史コース _____

公園内には、人類の歴史と深いかわりのある樹木が植えられています。人類が自然とともに生活し、それぞれの樹木をどのようにして利用してきたか、オリエンテーリングをしながら学習してください。

学習オリエンテーリングには、次の3コースがあります。

1. 食の文化コース (所要時間約30分)
2. 住と道具の文化コース (所要時間約45分)
3. 人々に親しまれた木の歴史コース (所要時間約15分)

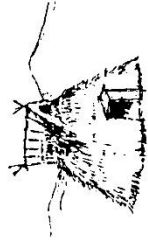
シンボルマーク



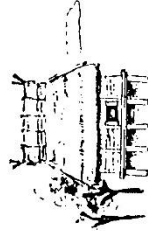
石 斧



曲げ物



竪穴住居



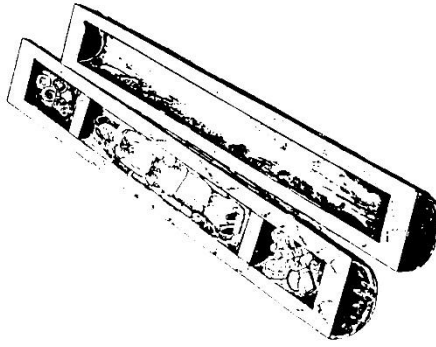
掘立柱建物



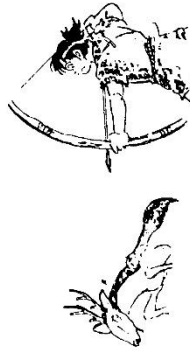
木の実を割る



農 具



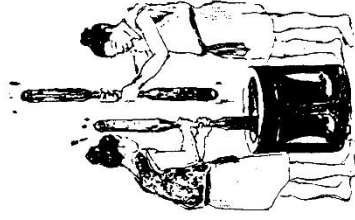
木 棺



弓矢

〔学習オリエンテーリングのやり方〕

- (1)好みのコースを選んで、シンボルマークのついた木を探しましょう。
 - (2)プレートの番号と同じ欄に木の名前を書こう！
 - (3)まわりおわったら、正解の用紙を見てチェック欄に○×をいれましょう。
- ☆どれくらいかかった時間でまわられるか、時計塔で時間をかかってみましょう。



脱穀

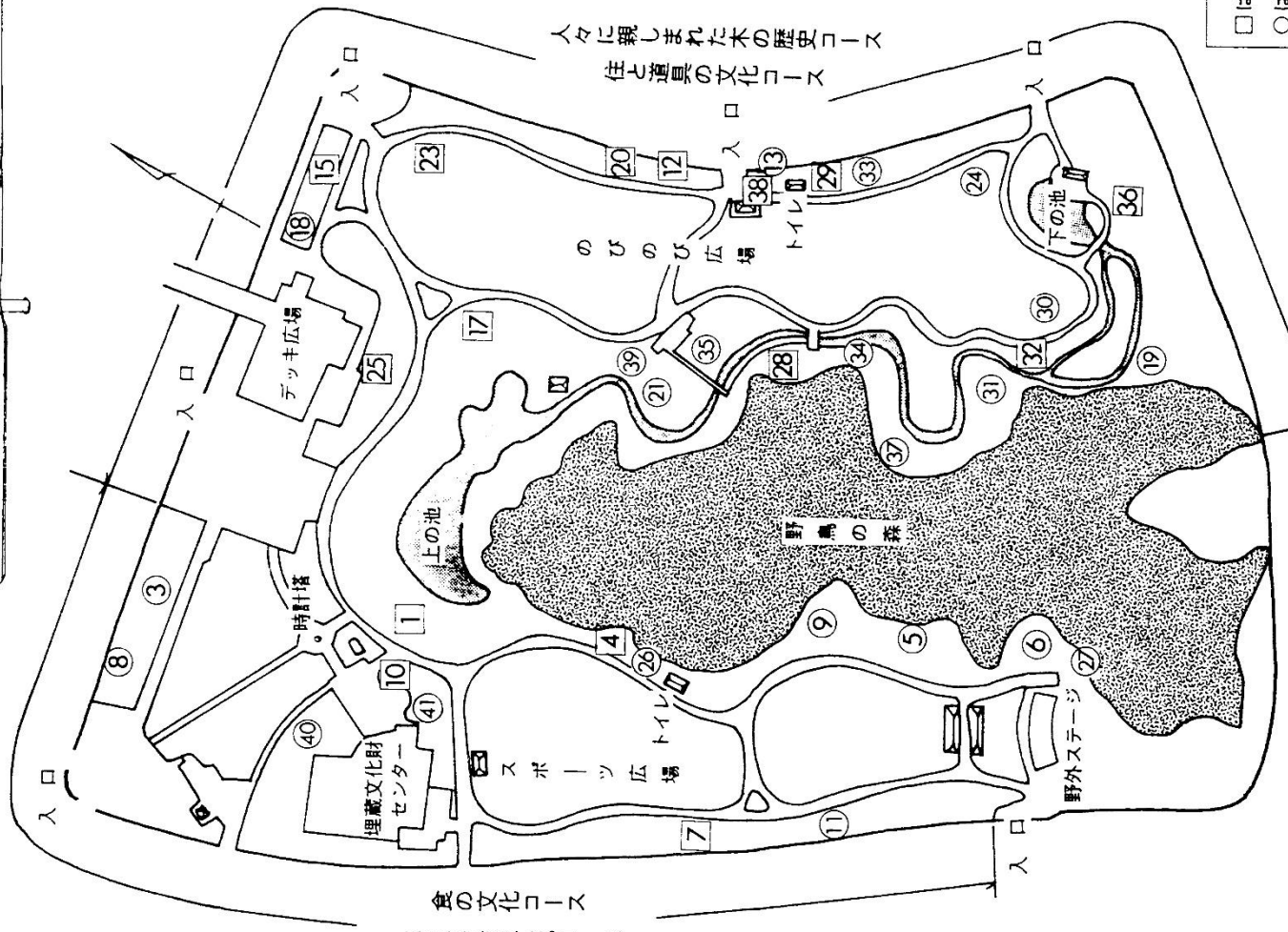
オリエンテering案内図

番号 木の名まえ チェック欄
 脱穀の道具「農具」(No.9)] []
 23 []
 4 []
 台所・食器に使う木「くり物」

「ひき物」 「曲げ物」 (No.10)] []
 25 []
 38 []
 39 []
 40 []
 ひつぎに使う木「木棺」 (No.11)] []
 28 []
 紙になる木・紙にかわる木「木筋」(No.12)] []
 29 [] (標石のみ)
 30 []
 31 []
 家を造る木「建築材」 (No.13)] []
 32 []
 33 []
 34 []
 35 []
 丸木舟を造る木「丸木舟」 (No.14)] []
 36 [] (標石のみ)
 37 []

住と道具の文化コース

歴ま入 四季に親しむ (No.15)] []
 史れ々 38 [] (標石のみ)
 コたに 39 []
 |木親 40 []
 スのし 41 []



人々に親しまれた木の歴史コース
 住と道具の文化コース

食の文化コース 住と道具の文化コース

番号 木の名まえ チェック欄
 手を加えずに食べていたもの (No.1)] []
 1 [] ヤマモモ] []
 3 []
 火をとおすと食べられるもの (No.2)] []

4 []
 5 []
 6 []
 渋み(あく)をとると食べられるもの (No.3)] []
 7 []
 8 []
 9 []
 葉や洗剤になるもの (No.4)] []
 10 []
 11 []

燃える木「発火具」 「炭材」 (No.5)] []
 12 []
 13 []
 狩り・いくさに使う木「弓矢」 (No.6)] []
 15 []

田を耕す道具「農具」 (No.7)] []
 17 []
 18 []
 19 []
 斧の柄に使う木「工具」 (No.8)] []
 20 []
 41 []

住と道具の文化コース

□は石のプレートで、解説のあるポイント
 ○はシンボルマークのついたプレート表示のポイント